

2024年度

# 佐賀県公立高校入試

5教科問題・分析資料集

# はじめに 入試分析の方法とその活用

## ■この資料では、高校入試の全設問を次の3種に分類します

- 1: サービス問題 (かんたん)
- 2: 標準問題 (ふつう)
- 3: 難問 (難しい)

それぞれの正答率の目安は教科によって異なりますが、このように分類することで、入試に向かう上での「作戦」を立てることが可能になるのです。

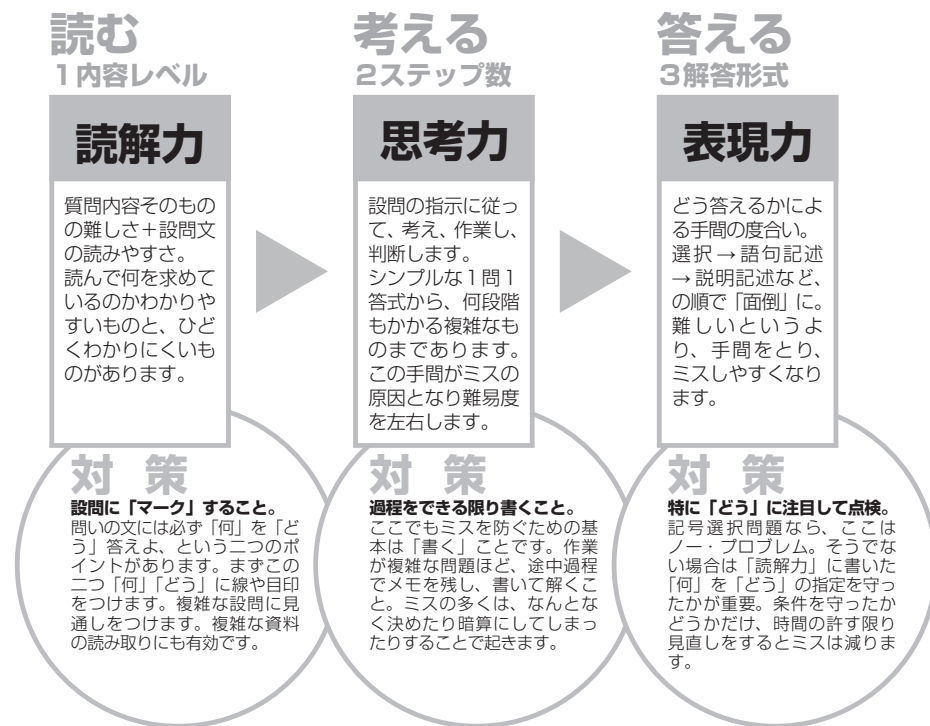
## ■問題が難しいかどうか、どうやって決まるの？

みなさんの中には「記号問題は簡単で、記述式は難しい」と何となく感じている人がいるでしょう。でも、必ずしもそうとはいえません。記号問題も、難しいテーマで手順を複雑にして、選択肢をまぎらわしくすると、かなりの難問になるのです。また、説明問題は特にきらわれますが、冷静に考えると、なにか書いてあれば部分的に得点できる可能性があるのも事実です（選択や語句の記述は誤ったら1点にもなりません）。設問の難易度決定について、主に次の3項目があります。

- 1 内容（語彙）レベル：問われていること自体が難しいかどうか
- 2 ステップ数：質問と解答の距離・解くのにかかる手間  
解答の探しにくさ（主に英語・国語の読解問題）
- 3 解答形式レベル：答えるのにかかる手間（選択は楽で、説明は手間がかかる）

以上は問題を解く過程そのものです。別の表現にすると、次のようになります。

1は、内容の読み取りですから読解力、2は、考え、作業したり判断しますから思考力、3は、解答を書くのですから、表現力を求めるといえるわけです。図で整理しましょう。



この資料では、主に先の3項目を組み合わせることで問題の難易度を判定しています。詳しい方法は、各教科のはじめにまとめました。

## ■設問の難易度がわかるとどんないいことがあるの？

分析できるのは、もう「終わった」入試問題です。みなさんが受けるわけではありません。でも、高校入試は、ある程度似た傾向が何年も続きます。毎年傾向が変わるようでは、高校側の求める学力がいつも「ぶれて」いることになります。

ですから、入試問題の分析は、次の年のために大いに役立つのです。そして、入試問題がどのように作られているかを知ることは、2つの大きなメリットをみなさんにもたらしめます。

## ■入試分析の2つのメリット

### メリット1：不安になったり、動揺することが減る

そもそも「正体がよくわからない」ものほど不安や動揺をかきたてるもの。

入試というと、「何となく難しそう」「何から手をつけていいのか」「範囲は広いし、出題に慣れていないし」そんな不安を誰でも感じるはず。そこで、この分析をよく読んで、その正体をよく見きわめましょう。意外に難しくなかったり、難しくても「できなくてよい問題が」多数あったり、といったように、みなさんの不安を解消する情報がきっと手に入ります。

### メリット2：目標点・計画・時間配分など、具体的な戦術を組み立てられる

入試問題は単純に、やさしい問題から始まってだんだん難しくなっていくような順番で作られているとは限りません。

たとえば、中盤に、ひどく難しく手間のかかる問題があり、その直後にかんたんな問題がある……このような場合、人によっては難問を「とばす」ことが高得点に結びつく場合があります。また、難しく、手間がかかる割に配点が小さいため、「とばす」ほうがよい問題も存在します。

よくおぼえておいてください。

**入試とは「限られた時間に可能な限り高い点を得る」競技**とっていいのです。

この「限られた時間」がポイントです。ペース配分を誤ると「時間切れ」で、取れるはずの問題を落としたり、難問に動揺して力を発揮できなかったり、などといった、学力以外の要素で合否が分かれる可能性が大きいのです。

だから、各入試問題の「正体」をよく見きわめ、みなさんそれぞれの得意不得意にあわせた「戦術」を組み立てることが大切です。受験生に必要な点をとることであって、最高点や満点をマークすることではないのですから。

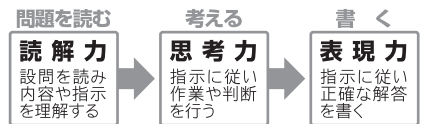
この資料が、みなさんの合格のための作戦立案・実行のサポート役になれば幸いです。



## 資料の見方・各項目の解説

この資料の特徴は、入試問題の全設問を、タイプ別に分類し、さらに難易度を数値化し、「サービス問題」「標準問題」「難問」の3ランクに分類していることです。左のページの表を見れば、この教科の問題が、どのような内容、レベルで作られているかがわかります。また、かんたんな学習アドバイスも書かれています。この下には、資料の作られ方と見方をまとめました。ぜひ活用してください。

<b>■連番</b> 設問の「通し番号」で、原則として点がつけられる単位を「1設問」として数えます。	<b>■大設問</b> いわゆる「大問」・漢数字だったりローマ数字だったりしますが、この資料では原則、算用数字で表示。	<b>■分野1</b> 英語の問題のおおまかな分類（リスニング・対話文・長文、語彙など）。主に大設問単位で設定された分け方。	<b>■小説設問</b> 「連番」に対応する番号です。	<b>■分野2</b> 分野1よりも具体的な分類・設問そのものの形式・内容を表示。	<b>■分野3</b> 用いられる素材（英文など）の内容がどのような分野に関するものか表示。	<b>■形式</b> 名称左の数値1~4は、下の表の「表現力」の難易度です。 1 選択 いわゆる選択問題。語順整序など選択が特に多いものは、選択であっても語句（語句記述）にする場合も。 2 語句 語句単位で記述する設問。 2 計算 一般的な計算問題（数学）。 3 計算記述 計算過程も含めた一定以上の記述（数学）。 3 作図 図やグラフを作成する問題。 3 説明・小 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの。 3 論述・小 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの。 4 説明・大 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。 4 論述・大 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。 4 英作文 英作文（英語）。	<b>■種別</b> 問題を「どのような頭脳の働きを求めるか」によって種類分けしています。 <b>知識</b> 英語の語彙や発音、文法などの知識でストレートに解答できる設問です。 <b>読解</b> 解答するために、文章などの流れを追って読むことが必要な問題です。もちろん、知識は必要です。 <b>表現</b> 英作文などのように、英語を用いて意見などを能動的に表現する設問です。
-------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	--------------------------------	----------------------------------------------	---------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



問題難易度の判定方法です。問題を上の図のように、3ブロックに分けます。「読解：情報を入力」「思考：内容を考え判断」「表現：正しい解答を書く」です。読むべき内容は難しいが、選択式でしかも、解答がすぐ区別できるようになっていれば、主に「読解力」における難問です。反対に、わかりやすく書かれていても、意見と具体例をそろえて長い文章で表現しなければならないとなると、「表現力」の難問です。このような性格を数値化しています。そして、設問の「難易度」は、読解力・思考力・表現力の3つの数値を合計して判定します。この計算をかんたんに表したのが、下の「判定の公式」です。

連番	大設問	分野1	小説設問	分野2	分野3	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	1	リスニング	A	1 選択	学校生活	選択	読解	2	2	1	5	標	2	70.0	Emkが探しているカンカンどんなものかを選択	イラスト
2	1	リスニング	B	条件英作文	学校生活	論述・小	表現	2	3	3	8	難	4	28.8	夏休みに借題がなければ何をするか+その理由	分野横断(リスニング+英作文)
3	2	対話文	1	日本語訳	討論	説明・小	読解	2	2	2	6	標	2	45.8	教習車を利用する理由を本文中から探し、3つのうち2つを日本語訳	
4	2	対話文	2	グラフ読み取り	討論	選択	読解	2	3	1	6	標	2	50.8	教習車で運ばれたら、入院を必要としない人の割合のグラフと英文を読み、空欄の数値を選択	教科横断(英+数)
5	2	対話文	3	選択	討論	選択	読解	2	1	1	4	サ	2	82.0	教習車をどんな時に呼ぶべきか、大塚の意見として適切なものを選択	
6	3	長文	5	1条件英作文	新聞記事	論述・小	表現	1	2	3	6	標	2	58.4	Kurikoの夢が現にかなったか、まだかなっていないか、本文から読み取って英文で解答	Yes/No Question
7	3	長文	5	2条件英作文	新聞記事	論述・小	表現	2	3	3	8	難	3	30.2	1の根拠を英文で解答・2文以上可	活用型・新傾向

### ■読解力レベル

- 問題に書かれた内容の難しさの表示です。内容が難しいほど数値が大きくなります。
- 常識レベル 中学生なら知っているべき
  - 入試標準レベル 多くは過去に何度か経験がある
  - 入試難問レベル 標準レベルの受験生がてこずる
  - 超高校入試レベル 特別な問題でない限り見ない
  - 特別レベル ほとんどの中学生にとって意味不明

### ■思考力のレベル

- 読みとった情報について考え、判断する難易度です。設問と解答がそのまま対応する（発音の問題など）一問一答型は1、英文を訳して、文章中から解答を探すような場合は2、のように「手順」の長さをだまかに数値化したものです。大きいほど手間が多く、ミスする可能性が高まります。
- 一問一答 「この名を答えなさい」的な設問
  - シンプル たとえば式にしてみると 訳して(1)+解を選ぶ(1)=2
  - 手間がかかる たとえば式にしてみると 下線部を訳(1)+似た語を探す(1)+書きかえて解答(1)=3
  - 複雑 3に対し「探していく」「まぎらわしい」などの要素や手間が加わったもの
  - 特別 さらに何段階もの手間をかけさせる設問
  - 例外 大人でもミスをするポイントが何箇所もある複雑ぼう大な難物

### ■表現力のレベル

- 解答形式による手間の度合いを表します。「形式」項目をそのまま数値化しました。
- 選択 いわゆる選択問題・語順整序のような選択肢がたいへん多くなるものは除外する場合も
  - 語句 語句単位で記述する設問
  - 計算 一般的な計算問題（数学）
  - 計算記述 計算過程も含めた一定以上の記述（数学）
  - 作図 図やグラフを作成する問題。
  - 説明・小 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの
  - 論述・小 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの
  - 説明・大 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
  - 論述・大 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
  - 英作文 英作文（英語）

## サービス問題

難易度3~4 正答率の目安70%~  
 誰でも解けるように用意されたものです。ここでミスをしたら致命的です。どうあっても確実にゲットしたい問題です。

ミスは許されな!

## 標準問題

難易度5~7 正答率の目安40%~70%  
 入試の中心的な問題群です。これを確実にとれたかどうかは難問より重要で、合否にもっとも大きく影響します。

ほとんどの受験生の勝負ポイント!

## 難問

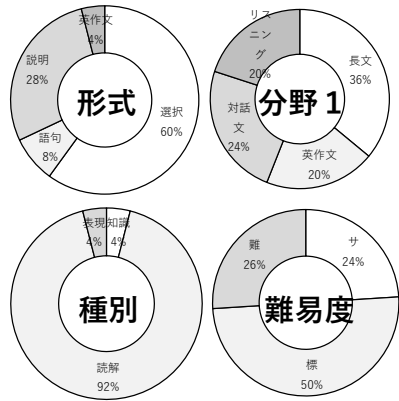
難易度8~10 正答率の目安~40%  
 多くの受験生が解けません。難問高校以外ではあまり影響はありません（もちろん、難問はここが勝負）。

時にはパスする勇気も!

■難易度11以上は「超難問」です

**判定の公式** 読解力レベル + 思考力レベル + 表現力レベル = 難易度 → 判定

## 設問のバランス



## 総評と特徴のまとめ

■説明記述の割合が28%、昨年よりも減少したものの依然として高い

全体的に活用色が高い問題構成となっている  
□リスニング：過去2年間出題されていた英作文との融合問題は今年無かった

時刻表の読み取りが含まれている  
□大問2：記述問題で全て占められている  
正確なスペル・文法知識が必要であり、資料読み取りも含まれているので注意が必要

□大問3：タイトルを選ばせたり、意見と考えのうち考えを読み取らせるような共通テスト的な問題もある  
ウェブサイト読み取りの活用的な問題も出題されている

□対話文：グラフ読み取りや日本語記述問題  
内容はエコツアーについてのもの  
□長文：比較的スタンダードな内容のもの

## 傾向と対策

## 佐賀県 2024年度 一般 英語

大問構成はリスニング・英作文・対話文と長文・対話文・長文読解の計5題。リスニングはここ2年続いていた英作文との融合問題が出題されなかった。その分、時刻表の読み取り問題が出ていた。それ以外の対話文や長文でも表やグラフの読み取り問題、タイトル選択や意見と事実を見分ける問題など、共通テストの影響を受けた問題が多々見受けられる。慣れるためにも他の都道府県の過去問から同じような問題を選んで練習しておこう。

その最たるものが大問3である。ここでは短い対話文や英文を読ませて1・2問の問題を解かせるパターンとなっており、素早く読み取る必要もある。このような出題方法は他県にもみられるので探して解いておこう。

一方大問4・5は比較的スタンダードな読解問題となった。大問4はエコツアーに関するもので、内容にやや深みがある。じっくり読んで正確に答えを作っていきたい。大問5は留学生のスピーチという、比較的一般的なものである。大問3のような変わった問題が苦手な生徒はこちらを先に解くとよいだろう。

全体的に記述問題がやや減り、記号問題が増えたものの、一題一題をじっくりと考えて解かなければならない問題が増えてきた。英文を素早く正確に読み取り、理解できるように訓練しておこう。

## 全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	分野3	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考	
1	1	リスニング	1	1	内容把握	日常生活	選択	読解	1	1	1	3	サ	1	99.0	英語の質問と3つの答えを聞き、イラストの内容に合うものを選択	イラスト
2	1	リスニング	1	2	内容把握	日常生活	選択	読解	1	2	1	4	サ	1	75.0	英語の質問と3つの答えを聞き、時刻表を読み取り質問の内容に合うものを選択	活用型（時刻表読み取り）
3	1	リスニング	2	1	空所補充	学校生活	選択	読解	2	2	1	5	標	1	51.0	対話を聞き、その後続く受け答えとして正しい英文を選択	
4	1	リスニング	2	2	空所補充	日常生活	選択	読解	2	2	1	5	標	1	62.0	対話を聞き、その後続く受け答えとして正しい英文を選択	
5	1	リスニング	3		内容把握	日常生活	選択	読解	2	1	1	4	サ	2	74.0	日本語の条件と英文を聞き、条件にあてはまるイラストを選択	イラスト
6	1	リスニング	4	1	英問英答	レポート・スピーチ	選択	読解	2	1	1	4	サ	2	82.0	まとまった英文と、その後の英語の質問を聞き、その答えとなる英文を選択	
7	1	リスニング	4	2	英問英答	レポート・スピーチ	選択	読解	2	1	1	4	サ	2	73.0	まとまった英文と、その後の英語の質問を聞き、その答えとなる英文を選択	
8	2	英作文	1	(1)	空所補充	日常生活	説明・小	読解	2	2	3	7	標	2	45.0	掲示板の案内を参考に対話のやり取りが成立するようにカッコ内の語を含めて英文を記述	6語以上・下線部が1文・指定語あり
9	2	英作文	1	(2)	空所補充	日常生活	説明・小	読解	2	2	3	7	標	2	40.0	ポスターを参考に対話のやり取りが成立するように英文を記述	1文
10	2	英作文	2	(1)	空所補充	レポート・スピーチ	説明・小	読解	2	3	3	8	難	2	34.0	メモを参考にしてスピーチ原稿の空所に入る英語を記述	
11	2	英作文	2	(2)	空所補充	レポート・スピーチ	説明・小	読解	1	4	3	8	難	2	29.0	メモを参考にしてスピーチ原稿の空所に入る英語を記述	
12	2	英作文	2	(3)	条件英作文	レポート・スピーチ	英作文	表現	1	3	4	8	難	2	30.0	スピーチ原稿の空所に入る英語を自分で考えて記述	活用型（意見）
13	3	対話文	1	(1)	内容把握	日常生活	選択	読解	2	1	1	4	サ	1	88.0	対話文を読み取り、その内容を正しく表したイラストを選択	イラスト
14	3	対話文	1	(2)	内容把握	日常生活	選択	読解	2	1	1	4	サ	1	91.0	対話文を読み取り、その内容を正しく表したイラストを選択	イラスト
15	3	長文	2		その他	日常生活	選択	読解	3	2	1	6	標	2	61.0	本文のタイトルとして適切なものを選択	国語的
16	3	長文	3		その他	日常生活	選択	読解	2	3	1	6	標	2	69.0	本文の下線部のうち、考えが書かれているものを選択	共通テスト的
17	3	長文	4	(1)	空所補充	学校生活	選択	読解	2	2	1	5	標	2	58.0	ウェブサイトを読み取り、メッセージの空所に入る英語を選択	活用型（ウェブサイト読み取り）
18	3	長文	4	(2)	空所補充	学校生活	選択	読解	3	2	1	6	標	2	59.0	ウェブサイトを読み取り、メッセージの空所に入る英語を選択	活用型（ウェブサイト読み取り）
19	4	対話文	1	(1)	内容把握	討論	語句	読解	2	2	2	6	標	1	58.0	下線部が指す具体的な内容を表す日本語の空所に入る言葉を記述	
20	4	対話文	1	(2)	内容把握	討論	語句	読解	2	2	2	6	標	1	66.0	下線部が指す具体的な内容を表す日本語の空所に入る言葉を記述	
21	4	対話文	2		図・グラフ読み取り	討論	選択	読解	3	2	1	6	標	2	66.0	対話文の内容に合うグラフを選択	活用型（グラフ読み取り）
22	4	対話文	3		内容把握	討論	説明・小	読解	3	2	3	8	難	2	34.0	下線部の具体的な内容を日本語で記述	
23	4	対話文	4		空所補充	討論	選択	読解	3	2	1	6	標	2	65.0	本文中の空所に入る英語を選択	
24	4	対話文	5		内容一致	討論	選択	読解	3	4	1	8	難	2	35.0	本文の内容と一致する英文を選択	
25	5	長文	1		内容一致	レポート・スピーチ	選択	読解	3	2	1	6	標	2	44.0	ジョージについて述べている英文として正しいものを選択	
26	5	長文	2		空所補充	レポート・スピーチ	語句	知識	3	2	2	7	標	2	58.0	指定された日本語の意味になるように空所に入る単語を本文から抜き出して記述	
27	5	長文	3		内容把握	レポート・スピーチ	選択	読解	2	1	1	4	サ	2	76.0	下線部のように名付けられた理由を選択	
28	5	長文	4		内容把握	レポート・スピーチ	説明・小	読解	3	2	3	8	難	2	28.0	下線部について、どのようなことを聞いたのか記述	
29	5	長文	5	1	言い換え・指示語	レポート・スピーチ	説明・小	読解	2	2	3	7	標	1	42.0	下線部の具体的な内容を表した日本語の空所に入る言葉を記述	
30	5	長文	5	2	言い換え・指示語	レポート・スピーチ	説明・小	読解	3	2	3	8	難	1	39.0	下線部の具体的な内容を表した日本語の空所に入る言葉を記述	

# 数学

## 公立高校入試問題分析

### 資料の見方・各項目の解説

この資料の特徴は、入試問題の全設問を、タイプ別に分類し、さらに難易度を数値化し、「サービス問題」「標準問題」「難問」の3ランクに分類していることです。右のページの表を見れば、この教科の問題が、どのような内容、レベルで作られているかがわかります。また、かんたんな学習アドバイスも書かれています。この下には、資料の作られ方と見方をまとめました。ぜひ活用してください。

#### ■連番

設問の「通し番号」で、原則として点がつけられる単位を「1設問」として数えます。

#### ■大設問

いわゆる「大問」・漢数字だったりローマ数字だったりしますが、この資料では原則、算用数字で表示。

#### ■分野1

数学の問題のおおまかな分類。代数・関数・図形・資料・その他、です。主に大設問単位で設定された分け方。

#### ■小設問

「連番」に対応する番号です。

#### ■分野2

分野1よりも具体的な分類・設問そのものの形式・内容を表示。

#### ■形式

- 名称左の数値1~4は、下の表の「表現力」の難易度です。
- 1 選択** いわゆる選択問題。語順整理など選択が特に多いものは、選択であっても語句（語句記述）にする場合も。
  - 2 語句** 語句単位で記述する設問。
  - 2 計算** 一般的な計算問題（数学）。
  - 3 計算記述** 計算過程も含めた一定以上の記述（数学・理科）。
  - 3 作図** 図やグラフを作成する問題。
  - 3 説明・小** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの。
  - 3 論述・小** 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの。
  - 4 説明・大** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。
  - 4 論述・大** 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。
  - 4 証明** 証明の全過程（ほぼ全て）を記述するもの・穴埋めは2または3（数学）。

#### ■種別

問題を「どのような頭脳の働きを求めるか」によって種類分けしています。

**知識** 一般的な解法の知識で解決可能な問題です。

**読解** データを読み取ったり情報を分析するなど、読解的な作業が中心の問題です。

**表現** 分析した結果やデータを形式を変えて表現したり、解決法を考えて示したりするなど、自分で表現の方法を考えて構成する必要のあるタイプです。

#### 問題を読む

**読解力**  
設問を読み内容や指示を理解する

#### 考える

**思考力**  
指示に従い作業や判断を行う

#### 書く

**表現力**  
指示に従い正確な解答を書く

問題難易度の判定方法です。問題を上の図のように、3ブロックに分けます。「読解：情報を入力」「思考：内容を考え判断」「表現：正しい解答を書く」です。読むべき内容は難しいが、選択式でしかも、解答がすぐ区別できるようになっていれば、主に「読解力」における難問です。反対に、わかりやすく書かれていても、意見と具体例をそろえて長い文章で表現しなければならないとなると、「表現力」の難問です。このような性格を数値化しています。そして、設問の「難易度」は、読解力・思考力・表現力の3つの数値を合計して判定します。この計算をかんたんに表したのが、下の「判定の公式」です。

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解力	思考力	表現力	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	1	代数	1	正負の数	計算	知識	1	1	1	3	サ	2	88.3	正負の四則計算	
2	2	図形	2	空間図形	選択	知識	1	2	1	4	サ	2	71.4	立方体の平行な辺	完全解答
3	2	資料	4	資料の活用	語句	知識	1	2	2	5	標	2	45.8	資料から最頻値を解答	
4	6	関数	1	2次関数	計算記述	読解	2	1	3	6	標	1	60.0	制動距離が何倍になるか計算	情報処理
5	6	関数	2	2次関数	説明・小	表現	3	4	3	10	難	3	33.2	前の自動車に追突しないか判断できる理由を説明	新傾向問題 情報処理
6	8	図形		円	証明	知識	3	3	4	10	難	4	18.5	4点が同一直線上にあることの証明	

#### ■読解力レベル

- 問題に書かれた内容の難しさの表示です。内容が難しいほど数値が大きくなります。
- 1 常識レベル** 中学生なら知っているべき
  - 2 入試標準レベル** 多くは過去に何度か経験がある
  - 3 入試難問レベル** 標準レベルの受験生がこずる
  - 4 超高校入試レベル** 特別な問題でない限り見ない
  - 5 特別レベル** ほとんどの中学生にとって意味不明

#### ■思考力のレベル

- 読みとった情報について考え、判断する難易度です。設問と解答がそのまま対応する（単純な計算問題など）一問一答型は1、立式して計算したり、条件を探すような場合は2……のように「手順」の長さをだまかに数値化したものです。大きいほど手間が多く、ミスする可能性が高まります。
- 1 一問一答** 「単純な計算」的な設問
  - 2 シンプル** たとえば式にしてみると  
立式 (1) + 解を求める (1) = 2
  - 3 手間がかかる** たとえば式にしてみると  
立式 (1) + 海を求める (1) + 解をもとに計算し解答 (1) = 3
  - 4 複雑** 3に対し「作業が複雑」「まぎらわしい」などの要素や手間が加わったもの
  - 5 特別** さらに何段階もの手間をかけた設問
  - 6 例外** 大人でもミスするポイントが何箇所もある複雑ぼう大な難物

#### ■表現力のレベル

- 解答形式による手間の度合いを表します。「形式」項目をそのまま数値化しました。
- 1 選択** いわゆる選択問題・語順整理のような選択肢がたいへん多くなるものは除外する場合も
  - 2 語句** 語句単位で記述する設問
  - 2 計算** 一般的な計算問題（数学）
  - 3 計算記述** 計算過程も含めた一定以上の記述（数学・理科）
  - 3 作図** 図やグラフを作成する問題。
  - 3 説明・小** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの
  - 3 論述・小** 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの
  - 4 説明・大** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
  - 4 論述・大** 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
  - 4 証明** 証明の全過程（ほぼ全て）を記述するもの・穴埋めは2または3（数学）

### サービス問題

難易度 3~4 正答率の目安 70%~  
誰でも解けるように用意されたものです。ここでミスをしたら致命的です。どうあっても確実にゲットしたい問題です。

### 標準問題

難易度 5~7 正答率の目安 40%~70%  
入試の中心的な問題群です。これを確実にとれたかどうかは難問より重要で、合否にもっとも大きく影響します。

### 難問

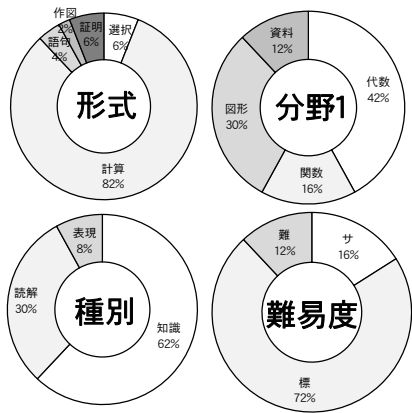
難易度 8~10 正答率の目安 40%  
多くの受験生が解けません。難問高校以外ではあまり影響はありません（もちろん、難問はここが勝負）。時にはパスする勇気も！

■難易度 11 以上は「超難問」です

### 判定の公式

読解力レベル + 思考力レベル + 表現力レベル = 難易度 → 判定

## 設問のバランス



## 総評と特徴のまとめ

- 思考力よりも情報処理能力を要求
- オードックスな基本問題と活用問題のバランス
- ルールをよく読み、整理して解く力が必要
- 代数: 情報処理系の活用型問題の出題
- ていねいなまとめが必要。計算ミスにも注意
- 関数: 入試としてはオードックスな問題
- ていねいに図に書き込む訓練を積もう
- 図形: オードックスな問題。過去問演習がカギ
- 資料: 箱ひげ図と確率の問題
- 図の意味の理解とていねいな計算の積み重ねがカギ

## 傾向と対策

## 佐賀県 2024年度 一般 数学

大設問1にある問題はすべてがサービス問題・標準問題なので、教科書レベルの基本的な計算を、制限時間を決めて訓練しよう。一問一答形式の問題も、過去問や参考書を利用して数をこなそう。大設問2のプロセス問題では、部分点がもらえるので、わかったことは書くようにしよう。ミスが命取りになる。ていねいに解く練習をくり返してほしい。前問の結果を利用する問題が多いので、慎重に解き進めたい。

大設問5にルールに従って考える規則性問題が出題された。大設問2には解答のプロセスを記述する問題は出題されており、手間のかかる入試問題である。他県と比べ問題数が多いので、制限時間内にすべての問題を解き切るためには、簡単な問題を確実に、素早く解かなければならない。

与えられる図はシンプルであり、問題に応じて新たな図を与えられる。関数・図形問題に与えられる図は比較的シンプルなものである。そのため、解答するには必要な補助線や等しい辺・角を図の中にどんどんかき込むことが重要である。教科書や参考書の問題で、「図がシンプルなお題」を探し、かき込みの練習をしよう。このとき、問題文に直接書いてあることだけでなく、図形の性質や前の設問でわかったことなどもかき込むクセをつけよう。また、図形の証明問題はさほど難しくない。苦手な人はまず、教科書の例題にある証明問題を一通り丸写しして「証明の書き方」を頭に入れよう。条件を見て等しい角や辺に印を入れることをくり返そう。

## 全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考	
1	1	代数	1	ア	正負の数	計算	知識	1	1	2	4	サ	1	98.0	正負の減法	
2	1	代数	1	イ	文字式	計算	知識	1	1	2	4	サ	1	90.0	多項式の四則	
3	1	代数	1	ウ	文字式	計算	知識	1	1	2	4	サ	1	86.0	単項式の除法	
4	1	代数	1	エ	平方根	計算	知識	1	1	2	4	サ	1	91.0	平方根の減法	
5	1	代数	2		因数分解	計算	知識	1	1	2	4	サ	1	90.0	乗法公式を利用した因数分解	
6	1	代数	3		2次方程式	計算	知識	1	1	2	4	サ	1	74.0	解の公式を利用した二次方程式の解法	
7	1	図形	4		空間図形	計算記述	知識	1	2	3	6	標	1	45.0	三平方の定理を利用して三角形を回転させてできる立体の体積を計算	
8	1	図形	5		平面図形	作図	表現	1	2	3	6	標	1	34.0	弧AB上に、3:1となるような点Pを作図	
9	1	図形	6		円	計算記述	知識	1	2	3	6	標	1	29.0	平行線の性質と円周角の定理を利用して角の大きさを計算	
10	1	資料	7		箱ひげ図	選択	知識	3	2	1	6	標	1	23.0	4つの箱ひげ図から読み取れることをすべて選択	完全解答
11	2	代数	1	ア	連立方程式	選択	読解	1	2	1	4	サ	1	83.0	会話文中の3つの空欄にあてはまる数や式の組み合わせを選択	活用型・組み合わせ
12	2	代数	1	イ④	連立方程式	語句	読解	1	2	2	5	標	1	37.0	つづいた問題の連立方程式を立式	活用型
13	2	代数	1	イ⑤	連立方程式	語句	読解	1	2	2	5	標	1	35.0	つづいた問題の連立方程式を立式	活用型
14	2	代数	1	ウ	連立方程式	計算記述	読解	1	2	3	6	標	2	11.0	連立方程式を解いて、3点シュートは何本成功したかを計算	活用型・前問の結果を利用
15	2	代数	2	ア	2次方程式	計算記述	知識	1	1	3	5	標	1	43.0	長方形の土地に1mの幅の通路をつけたときの通路の面積を計算	
16	2	代数	2	イ	2次方程式	計算記述	知識	1	1	3	5	標	1	19.0	長方形の土地にxmの幅の通路をつけたときの通路の面積を立式	
17	2	代数	2	ウ	2次方程式	計算記述	知識	2	2	3	7	標	3	12.0	長方形の土地にxmの幅の通路をつけたとき、通路の面積と花だんの面積が等しくなるときの通路の幅を計算	解答のプロセスを記述・前問の結果を利用
18	3	関数	1		2次関数	計算記述	知識	1	1	3	5	標	1	78.0	放物線の比例定数を計算	
19	3	関数	2		比例反比例	計算記述	知識	1	1	3	5	標	1	75.0	双曲線の比例定数を計算	
20	3	関数	3		2次関数	計算記述	知識	1	1	3	5	標	1	73.0	放物線上の点Cの座標を計算	
21	3	関数	4		2次関数	計算記述	知識	1	2	3	6	標	1	56.0	2点を通る直線の方程式を計算	
22	3	関数	5		2次関数	計算記述	知識	2	2	3	7	標	2	42.0	双曲線上の点のうち、x座標とy座標がともに自然数となる点の個数を計算	
23	3	関数	6		2次関数	計算記述	知識	2	2	3	7	標	2	22.0	△ABCの面積を計算	
24	3	図形	7		2次関数	計算記述	知識	3	3	3	9	難	2	2.0	aの増加量をもとに、2つの三角形の面積の比が3:2となるような点Pのx座標をすべて計算	完全解答
25	4	図形	1		三平方の定理	計算記述	知識	1	2	3	6	標	1	60.0	三平方の定理を利用して線分の長さを計算	
26	4	図形	2		平面図形	計算記述	知識	1	2	3	6	標	2	15.0	相似を利用して線分の長さを計算	前問の結果を利用
27	4	図形	3	ア	相似	証明	表現	1	2	4	7	標	3	51.0	平行線の性質を利用して2つの三角形が相似であることを証明	
28	4	図形	3	イ	平面図形	計算記述	知識	2	2	3	7	標	2	8.0	相似を利用して三角形の面積を計算	
29	4	図形	3	ウ	平面図形	計算記述	知識	3	3	3	9	難	2	1.0	相似を利用して2つの三角形の面積の比を計算	前問の結果を利用
30	5	資料	1	ア	確率	選択	読解	1	1	1	3	サ	1	81.0	操作を2回行い、取り出したカードが1回目と2回目と0のカードであったときのアルファベットのカードの状態を選択	規則性
31	5	資料	1	イ	確率	計算記述	読解	1	2	3	6	標	1	58.0	操作を2回行い、取り出したカードに0のカードがない確率を計算	規則性・起こらない確率
32	5	資料	1	ウ	確率	計算記述	読解	1	2	3	6	標	1	38.0	操作を2回行い、アルファベットのカードがすべて反時計回りに90°回転している確率を計算	規則性
33	5	資料	1	エ	確率	計算記述	読解	2	2	3	7	標	2	10.0	操作を2回行い、アルファベットのカードが一度も180°回転にならない確率を計算	規則性・起こらない確率
34	5	代数	2	ア	文字式	計算記述	読解	1	1	3	5	標	1	58.0	ルールに従って石を並べていくとき、図形5のときの白い石の個数を計算	規則性
35	5	代数	2	イ	文字式	計算記述	読解	1	2	3	6	標	1	54.0	ルールに従って石を並べていくとき、図形6のときの白い石と黒い石の個数の差を計算	規則性
36	5	代数	2	ウ	文字式	計算記述	読解	1	2	3	7	標	1	24.0	ルールに従って石を並べていくとき、白い石と黒い石の個数の差が9のときの白い石の個数を計算	規則性・前問の結果を利用
37	5	代数	2	エ	文字式	計算記述	読解	2	3	3	8	難	2	6.0	ルールに従って石を並べていくとき、白い石と黒い石の個数の和が225のときの白い石と黒い石の個数をそれぞれ計算	規則性・完全解答・前問の結果を利用

## 資料の見方・各項目の解説

この資料の特徴は、入試問題の全設問を、タイプ別に分類し、さらに難易度を数値化し、「サービス問題」「標準問題」「難問」の3ランクに分類していることです。右のページの表を見れば、この教科の問題が、どのような内容、レベルで作られているかがわかります。また、かんたんな学習アドバイスも書かれています。この下には、資料の作られ方と見方をまとめました。ぜひ活用してください。

### ■連番

設問の「通し番号」で、原則として点がつけられる単位を「1設問」として数えます。

### ■大設問

いわゆる「大問」・漢数字だったりローマ数字だったりしますが、この資料では原則、算用数字で表示。

### ■分野1

国語の問題のおおまかな分類・主に大設問単位で設定された分け方。

### ■小設問

「連番」に対応する番号です。

### ■分野2

分野1よりも具体的な分類・設問そのものの形式・内容を表示。

### ■形式

- 名称左の数値1~4は、下の表の「表現力」の難易度です。
- 1 選択** いわゆる選択問題。語順整理など選択が特に多いものは、選択であっても語句（語句記述）にする場合も。
  - 2 語句** 語句単位で記述する設問。
  - 3 計算** 一般的な計算問題（数学）。
  - 3 計算記述** 計算過程も含めた一定以上の記述（数学・理科）。
  - 3 作図** 図やグラフを作成する問題。
  - 3 説明・小** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの。
  - 3 論述・小** 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの。
  - 4 説明・大** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。
  - 4 論述・大** 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。
  - 4 証明** 証明の全過程（ほぼ全て）を記述するもの・穴埋めは2または3（数学）。

### ■種別

問題を「どのような頭脳の働きを求めるか」によって種類分けしています。

**知識** 漢字や語彙、文法知識でストレートに解答できる設問です。

**読解** いわゆる読解問題です。文章の流れを追って読み、内容について判断したり書き変えたり、まとめたりします。

**表現** 作文などのように能動的に表現したり、表現をより効果的にするための工夫について考えたりします。

### 問題を読む

**読解力**  
設問を読み内容や指示を理解する

### 考える

**思考力**  
指示に従い作業や判断を行う

### 書く

**表現力**  
指示に従い正確な解答を書く

問題難易度の判定方法です。問題を上の図のように、3ブロックに分けます。「読解：情報を入力」「思考：内容を考え判断」「表現：正しい解答を書く」です。読むべき内容は難しいが、選択式でしかも、解答がすぐ区別できるようになっていれば、主に「読解力」における難問です。反対に、わかりやすく書かれていても、意見と具体例をそろえて長い文章で表現しなければならないとなると、「表現力」の難問です。このような性格を数値化しています。そして、設問の「難易度」は、読解力・思考力・表現力の3つの数値を合計して判定します。この計算をかんたんに表したのが、下の「判定の公式」です。

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解力	思考力	表現力	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考	作者	作品名
1	1	説明的文章	1	漢字	語句	知識	1	1	2	4	サ	2	83.3	漢字・書き2問(異なる・減ずる)	減ずる 難	外山滋比古	古典論
2	1	説明的文章	2	内容把握	選択	読解	1	1	1	3	サ	2	75.8	接続語を選択して空欄補充		外山滋比古	古典論
3	1	説明的文章	3	内容把握	語句	読解	2	2	1	5	標	2	60.2	指定段落から空欄に適する語を5字で書き抜き・空欄補充		外山滋比古	古典論
4	1	説明的文章	4	内容把握	説明・小	読解	1	3	3	7	標	4	48.6	文章を形式化したものの空欄補充(2つ)+図の説明を25字以内で記述	3問完答	外山滋比古	古典論
5	2	作文・表現	1	内容把握	選択	読解	1	1	1	3	サ	2	77.5	該当部分の発音が話し合いの中で果たす役割を選択			
6	2	作文・表現	2	作文	表現	表現	2	2	4	8	難	9	26.2	「読書しない理由」を自由に選択「読書をする理由」を200字以内で記述	配点は全国最大級		

### ■読解力レベル

- 問題に書かれた内容の難しさの表示です。内容が難しいほど数値が大きくなります。
- 1 常識レベル** 中学生なら知っているべき
  - 2 入試標準レベル** 多くは過去に何度か経験がある
  - 3 入試難問レベル** 標準レベルの受験生がこずる
  - 4 超高校入試レベル** 特別な問題でない限り見ない
  - 5 特別レベル** ほとんどの中学生にとって意味不明

### ■思考力のレベル

- 読みとった情報について考え、判断する難易度です。設問と解答がそのまま対応する（漢字問題など）一問一答型は1、傍線部の前後から探したりする場合は2……のように「手順」の長さをだまかに数値化したものです。大きいほど手順が多く、ミスする可能性が高まります。
- 1 一問一答** 「単純な漢字」的な設問
  - 2 シンプル** たとえば式にしてみると主張を確認(1)+選ぶ(1)=2
  - 3 手間がかかる** たとえば式にしてみると主張を確認(1)+文章から探す(1)+加工して字数などをあわせる(1)=3
  - 4 複雑** 3に対し「探にくい」「作業が複雑」などの要素や手間が加わったもの
  - 5 特別** さらに何段階もの手間をかけさせる設問
  - 6 例外** 大人でもミスするポイントが何箇所もある複雑ばう大な難物

### ■表現力のレベル

- 解答形式による手間の度合いを表します。「形式」項目をそのまま数値化しました。
- 1 選択** いわゆる選択問題・語順整理のような選択肢がたいへん多くなるものは除外する場合も
  - 2 語句** 語句単位で記述する設問
  - 2 計算** 一般的な計算問題（数学）
  - 3 計算記述** 計算過程も含めた一定以上の記述（数学・理科）
  - 3 作図** 図やグラフを作成する問題。
  - 3 説明・小** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの
  - 3 論述・小** 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの
  - 4 説明・大** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
  - 4 論述・大** 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
  - 4 証明** 証明の全過程（ほぼ全て）を記述するもの・穴埋めは2または3（数学）

## サービス問題

難易度 3~4 正答率の目安 70%~  
誰でも解けるように用意されたものです。ここでミスをしたら致命的です。どうあっても確実にゲットしたい問題です。

ミスは許されな!

## 標準問題

難易度 5~7 正答率の目安 40%~70%  
入試の中心的な問題群です。これを確実にとれたかどうかは難問より重要で、合否にもっとも大きく影響します。

ほとんどの受験生の勝負ポイント!

## 難問

難易度 8~10 正答率の目安~40%  
多くの受験生が解けません。難問高校以外ではあまり影響はありません（もちろん、難問はここが勝負）。

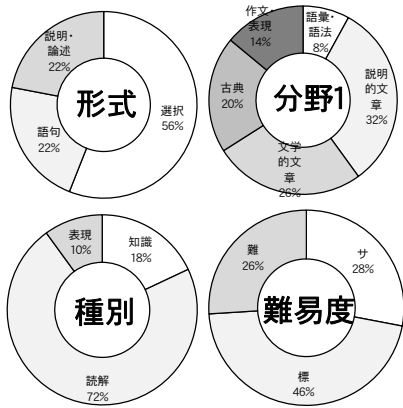
時にはパスする勇気も!

■難易度 11 以上は「超難問」です

## 判定の公式

$$\text{読解力レベル} + \text{思考力レベル} + \text{表現力レベル} = \text{難易度} \rightarrow \text{判定}$$

## 設問のバランス



## 総評と特徴のまとめ

■すべての大問に複数テキストが登場

- 複線型読解が多い
- 文学的文章(大設問三)に、(本文の表現)とその(表現の効果)を組み合わせ正しい順に並べ替える、ステップ数の多い問題
- 大設問一は3つの非連続型テキストによる問題だが複線型読解とは限らない
- 説明的文章は2つの文章
- 2つの文章を読んだ後の【まとめシート】が複線型読解
- 古典も複線型読解

## 傾向と対策

昨年問題傾向を踏襲。すべての大問に複数テキストが登場。複数テキストを使って解く複線型読解は、26問中8問。大設問一のように、複数テキストが多数ある場合には、まず設問から読もう。すると複数のテキストを使わなくても解ける問題があったり、設問に応じて必要なテキストを必要な視点で読むことができるため時間の節約にもなる。

大設問二は説明的文章である。2つの文章が登場。この場合も設問から読もう。そのあと、本文にマークしながら通読する。マークは、筆者の主張が書かれている抽象的にまとめた部分、「AはB」のような定義文、文章や段落の最終文などしておく。

昨年まであった、文章を図に置き換えることのできる読解力=「イメージ同定」の問題は姿を消す。そのかわりに、2つの文章についてまとめた【まとめシート】の内容の正誤を判断させる問題は新しい。また、大問3の間5は、本文の表現と効果を組み合わせる。そして、効果の部分から右から順に並べた選択肢として正しいものを選択する。これも新しい問題であった。

古典は、古文と【対話】の複線型読解。

## 佐賀県 2024年度 一般 国語

## 全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考	作者	作品名
1	1	語彙・語法	1 a	漢字	語句	知識	2	1	2	5	標	1	73.0	漢字:読み(募って)	複数テキスト		
2	1	語彙・語法	1 b	漢字	語句	知識	2	1	2	5	標	1	64.0	漢字:書き(告げ)	複数テキスト		
3	1	語彙・語法	1 c	漢字	語句	知識	2	1	2	5	標	1	68.0	漢字:書き(額)	複数テキスト		
4	1	語彙・語法	1 d	漢字	語句	知識	1	1	2	4	サ	1	98.0	漢字:読み(清掃)	複数テキスト		
5	1	作文・表現	2 X	内容把握	語句	読解	1	1	2	4	サ	1	85.0	【放送原稿】の中の傍線部を意味が変わらないように二文に分けた時、空欄に入る言葉を書く	複数テキスト・放送原稿		
6	1	作文・表現	2 Y	語句知識	選択	知識	1	2	1	4	サ	1	97.0	【放送原稿】の中の傍線部を意味が変わらないように二文に分けた時、空欄に入る言葉を選択	複数テキスト・放送原稿		
7	1	作文・表現	3	作文	論述・大	表現	2	2	4	8	難	5	58.0	生徒会が計画した2つの活動のうちどちらが良いか【アンケート結果】にもふれ100~120字で	複数テキスト・アンケート結果・放送原稿・複線型		
8	2	説明的文章	1	内容把握	選択	読解	2	2	1	5	標	3	79.0	傍線部はどのような状態か選択	文章A	戸谷洋志	友情を哲学する 七人の哲学者たちの友情観
9	2	説明的文章	2	理由と結果	選択	読解	2	2	1	5	標	3	67.0	傍線部の理由を選択	文章A	戸谷洋志	友情を哲学する 七人の哲学者たちの友情観
10	2	説明的文章	3 X	理由と結果	語句	読解	2	2	2	6	標	1	77.0	傍線部のように提案する理由をまとめた文の空欄に入る語句を15字以内で記述	空欄補充・文章A	戸谷洋志	友情を哲学する 七人の哲学者たちの友情観
11	2	説明的文章	3 Y	理由と結果	説明・大	読解	2	2	4	8	難	3	61.0	傍線部のように提案する理由をまとめた文の空欄に入る語句を40字以内で説明	空欄補充・文章A	戸谷洋志	友情を哲学する 七人の哲学者たちの友情観
12	2	説明的文章	4	内容把握	選択	読解	2	2	1	5	標	3	78.0	傍線部の説明を選択	文章B	石田光規	「ひとそれぞれ」がさみしい「やさしく」冷た...
13	2	説明的文章	5 I	内容把握	選択	知識	1	2	1	4	サ	1	82.0	【まとめシート】が本文の内容に合っていたら○、合っていないものには×をつける	文章A・B・複線型	戸谷洋志/石田光規	友情を哲学する/「ひとそれぞれ」がさみしい
14	2	説明的文章	5 II	内容把握	選択	読解	1	2	1	4	サ	1	96.0	【まとめシート】が本文の内容に合っていたら○、合っていないものには×をつける	文章A・B・複線型	戸谷洋志/石田光規	友情を哲学する/「ひとそれぞれ」がさみしい
15	2	説明的文章	5 III	内容把握	選択	読解	3	3	1	7	標	1	30.0	【まとめシート】が本文の内容に合っていたら○、合っていないものには×をつける	文章A・B・複線型	戸谷洋志/石田光規	友情を哲学する/「ひとそれぞれ」がさみしい
16	3	文学的文章	1	語句知識	語句	知識	3	2	2	7	標	1	25.0	文法:「わざわざ」と同じ品詞を一語で書き抜き		高森美由紀	藍色ちくちく 魔女の薙りし工房
17	3	文学的文章	2	理由と結果	選択	読解	1	2	1	4	サ	2	91.0	傍線部のように「綾」が考えた理由の説明を選択		高森美由紀	藍色ちくちく 魔女の薙りし工房
18	3	文学的文章	3	内容把握	説明・小	読解	2	3	3	8	難	3	33.0	傍線部に関する【対話】中の空欄に入る言葉を30字以内で書く	対話・複線型・空欄補充	高森美由紀	藍色ちくちく 魔女の薙りし工房
19	3	文学的文章	4 ③	内容把握	選択	読解	2	1	1	4	サ	2	83.0	傍線部の「綾」についての説明を選択		高森美由紀	藍色ちくちく 魔女の薙りし工房
20	3	文学的文章	4 ④	内容把握	選択	読解	2	2	1	5	標	2	78.0	傍線部の「綾」についての説明を選択		高森美由紀	藍色ちくちく 魔女の薙りし工房
21	3	文学的文章	5	内容把握	選択	読解	1	2	1	4	サ	3	89.0	〈本文の表現〉をまとめた【ノート】の空欄に入る〈表現の効果〉を右から順に並べたものを選択	複線型・ノート・新傾向・空欄補充	高森美由紀	藍色ちくちく 魔女の薙りし工房
22	4	古典	1	語句知識	語句	知識	1	1	2	4	サ	2	94.0	歴史的仮名遣い:「ゆゑに」を現代仮名遣いに直す		江島為信	身の鏡
23	4	古典	2	内容把握	選択	読解	2	3	1	6	標	2	76.0	本文中の3つの空欄に入る語の組み合わせを選択	空欄補充	江島為信	身の鏡
24	4	古典	3 1	内容把握	選択	読解	3	2	1	6	標	2	62.0	【対話】中の空欄に入る内容を選択	【対話】・複線型	江島為信	身の鏡
25	4	古典	3 2	内容把握	語句	読解	3	3	2	8	難	2	49.0	【対話】中の空欄に入る内容を10字程度で書く	【対話】・複線型	江島為信	身の鏡
26	4	古典	3 3	内容把握	選択	読解	3	3	1	7	標	2	71.0	【対話】中の空欄に入る内容を選択	【対話】・複線型	江島為信	身の鏡

# 理科

## 公立高校入試問題分析

### 資料の見方・各項目の解説

この資料の特徴は、入試問題の全設問を、タイプ別に分類し、さらに難易度を数値化し、「サービス問題」「標準問題」「難問」の3ランクに分類していることです。右のページの表を見れば、この教科の問題が、どのような内容、レベルで作られているかがわかります。また、かんたんな学習アドバイスも書かれています。この下には、資料の作られ方と見方をまとめました。ぜひ活用してください。

#### ■連番

設問の「通し番号」で、原則として点がつけられる単位を「1設問」として数えます。

#### ■大設問

いわゆる「大問」・漢数字だったりローマ数字だったりしますが、この資料では原則、算用数字で表示。

#### ■分野1

理科の4分野（物理・化学・生物・地学）のおおまかな分類・主に大設問単位で設定された分け方。

#### ■小設問

「連番」に対応する番号です。

#### ■分野2

分野1よりも具体的な分類・設問そのものの形式・内容を表示。

#### ■形式

- 名称左の数値1~4は、下の表の「表現力」の難易度です。
- 1 選択** いわゆる選択問題。語順整理など選択が特に多いものは、選択であっても語句（語句記述）にする場合も。
  - 2 語句** 語句単位で記述する設問。
  - 3 計算記述** 計算過程も含めた一定以上の記述（数学・理科）。
  - 3 作図** 図やグラフを作成する問題。
  - 3 説明・小** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの。
  - 3 論述・小** 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの。
  - 4 説明・大** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。
  - 4 論述・大** 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。
  - 4 証明** 証明の全過程（ほぼ全て）を記述するもの・穴埋めは2または3（数学）。

#### ■種別

問題を「どのような頭脳の働きを求めるか」によって種類分けしています。

**知識** 語句などの知識があればストレートに解答できる設問です。

**情報** 与えられた資料などの情報から判断し回答すれば良い問題です。一般常識以上の知識が不要なタイプです。

**知識・情報** 知識を活用しつつ、情報処理や判断も行うタイプです。教科横断的な問題になる場合もあります。

#### 問題を読む

**読解力**  
設問を読み内容や指示を理解する

#### 考える

**思考力**  
指示に従い作業や判断を行う

#### 書く

**表現力**  
指示に従い正確な解答を書く

問題難易度の判定方法です。問題を上の図のように、3ブロックに分けます。「読解：情報を入力」「思考：内容を考え判断」「表現：正しい解答を書く」です。読むべき内容は難しいが、選択式でしかも、解答がすぐ区別できるようになっていけば、主に「読解力」における難問です。反対に、わかりやすく書かれていても、意見と具体例をそろえて長い文章で表現しなければならないとなると、「表現力」の難問です。このような性格を数値化しています。そして、設問の「難易度」は、読解力・思考力・表現力の3つの数値を合計して判定します。この計算をかんたんに表したのが、下の「判定の公式」です。

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解力	思考力	表現力	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	1	化学	1	水溶液の性質	計算記述	知識	1	2	3	6	標	2	48.2	濃度から必要な食塩と水の量を計算	
2	1	化学	2	化学変化と熱	語句	知識	1	1	2	4	サ	2	77.5	化学カイロの反応について「熱を放出する化学変化の名称」を記述し「熱を放出する化学変化」を選択	完全解答
3	1	化学	3.1	水溶液の性質	説明・小	情報	3	3	3	9	難	3	25.8	グラフから食塩水の濃度と化学カイロの最高温度の関係についてわかるところを説明	資料読み取り
4	1	化学	3.2	化学変化と熱	選択	情報	3	1	1	5	標	2	50.5	会話文にある「25%の濃度が一番化学変化を続ける理由」の空欄を補充・グラフを見て放出する熱の量の比較に着目して記述	資料読み取り
5	1	化学	4.1	化合と分解	語句	知識	2	1	2	5	標	2	61.1	化学カイロを袋に密閉して化学変化させたときなくなる物質の化学式を記述	
6	1	化学	4.2	化学変化と熱	説明・小	知識・情報	3	3	3	9	難	2	32.0	袋に密閉した化学カイロがまた使えることを、袋を開けて確かめるための実験レポートの「方法」「結果」「考察」の空欄を補充	新傾向問題 全国学力調査型

#### ■読解力レベル

問題に書かれた内容の難しさの表示です。内容が難しいほど数値が大きくなります。

- 1 常識レベル** 中学生なら知っているべき
- 2 入試標準レベル** 多くは過去に何度か経験がある
- 3 入試難問レベル** 標準レベルの受験生がこする
- 4 超高校入試レベル** 特別な問題でない限り見ない
- 5 特別レベル** ほとんどの中学生にとって意味不明

#### ■思考力のレベル

読みとった情報について考え、判断する難易度です。設問と解答がそのまま対応する（単純な語句など）一問一答型は1、計算して解答を探したりする場合は2……のように「手順」の長さをだまかに数値化したものです。大きいほど手順が多く、ミスする可能性が高まります。

- 1 一問一答** 「単純な漢字」的な設問
- 2 シンプル** たとえば式にしてみると  
計算 (1) + 資料から判断 (1) = 2
- 3 手間がかかる** たとえば式にしてみると  
立式 (1) + 計算 (1) + 資料から判断 (1) = 3
- 4 複雑** 3に対し「まぎらわしい」「作業が複雑」などの要素や手順が加わったもの
- 5 特別** さらに何段階もの手間をかけさせる設問
- 6 例外** 大人でもミスするポイントが何箇所もある複雑ぼう大な難物

#### ■表現力のレベル

解答形式による手間の度合いを表します。「形式」項目をそのまま数値化した。

- 1 選択** いわゆる選択問題・語順整理のような選択肢がたいへん多くなるものは除外する場合も
- 2 語句** 語句単位で記述する設問
- 2 計算** 一般的な計算問題（数学）
- 3 計算記述** 計算過程も含めた一定以上の記述（数学・理科）
- 3 作図** 図やグラフを作成する問題。
- 3 説明・小** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの
- 3 論述・小** 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの
- 4 説明・大** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
- 4 論述・大** 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
- 4 証明** 証明の全過程（ほぼ全て）を記述するもの・穴埋めは2または3（数学）

### サービス問題

難易度 3~4 正答率の目安 70%~  
誰でも解けるように用意されたものです。ここでミスをしたら致命的です。どうあっても確実にゲットしたい問題です。

ミスは許されな!

### 標準問題

難易度 5~7 正答率の目安 40%~70%  
入試の中心的な問題群です。これを確実にとれたかどうかは難問より重要で、合否にもっとも大きく影響します。

ほとんどの受験生の勝負ポイント!

### 難問

難易度 8~10 正答率の目安 40%  
多くの受験生が解けません。難問高校以外ではあまり影響はありません（もちろん、難問はここが勝負）。

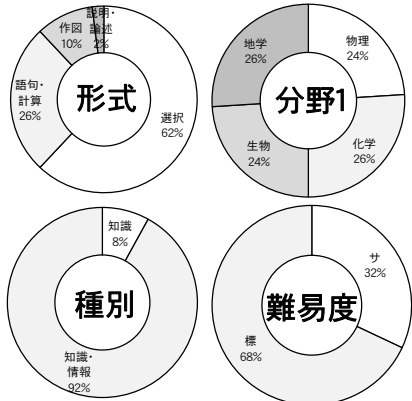
時にはパスする勇気も!

■難易度 11 以上は「超難問」です

### 判定の公式

$$\text{読解力レベル} + \text{思考力レベル} + \text{表現力レベル} = \text{難易度} \rightarrow \text{判定}$$

設問のバランス



総評と特徴のまとめ

- 実験の方法・結果の情報処理能力を要求  
 根本原理の理解度もはかる問題  
 基本知識を多く暗記し、それを土台に過去問を解くこと
- 物理: 根本原理理解を要求する問題が中心  
 計算問題多め。公式を頭に入れて計算練習を
- 化学: 知識を土台にした実験結果考察問題  
 教科書の実験について方法・結果・考察をまとめておきたい
- 生物: よくある実験の問題と基礎知識の確認問題  
 現象が起こる原理を理解し、過去問などで問題に慣れること
- 地学: 観察結果と考察を読み解く情報処理問題  
 観察結果をもとに「似た現象」に応用させる訓練が必要

傾向と対策

佐賀県 2024年度 一般 理科

根本原理の理解を問う問題を中心に出题されている。用語を単純に暗記するだけでなく、起こる現象の原因にも注意して教科書を眺めよう。対策には、全国の入試問題から、活用型の問題をたくさん解くのがよい。教科書の発展内容までしっかり読み込んで、「この現象はどのような原理で起こるのか」「この実験は日常生活とどこでつながっている」という視点もあわせて意識しよう。一方で、実験・観察に関する問題も多く出題されている。ここでも知識を少し応用させる問題が出ているのが特徴である。難問はなく、特に難関校では高得点勝負になることが予想される。知識の整理に手間取ると、致命傷になる恐れがあるので注意。教科書に載っている実験については、実験を行う理由、実験の方法、実験の結果・考察の3点を中心にまとめよう。

その上で、まとめるときに登場する基本的な用語や知識はもれなく押さえよう。これにより、新たな仮説と実験への足がかりがつかめる。さらに、現象の原因や理屈、似たような現象とのつながりなども意識しながら暗記しよう。

全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	1	物理	1	1	語句	知識・情報	1	1	2	4	サ	1	76.0	弦の振れ幅の名称を記述	
2	1	物理	1	2	語句	知識・情報	1	2	2	5	標	1	59.0	弦の太さやこじの位置をかえて弦をはく実験についての文中の2つの空欄にあてはまる語句を記述	完全解答・実験の結果
3	1	化学	2	1	語句	知識・情報	1	2	2	5	標	1	40.0	気体Aにマッチの炎を近づけると爆発的に燃えて液体が生じた反応を化学反応式で記述	
4	1	化学	2	2	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	1	59.0	気体Bの性質を選択	根本原理理解
5	1	化学	2	3	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	1	70.0	気体の発生方法を選択	実験の方法
6	1	生物	3	1	選択	知識・情報	2	2	1	4	サ	1	82.0	デンブンに対するだ液のはたらきを調べる実験についての文中の2つの空欄にあてはまるものを選択	完全解答・実験の結果
7	1	生物	3	2	語句	知識	1	1	2	4	サ	1	69.0	だ液に含まれ、デンブンを分解するはたらきをもつ消化酵素の名称を記述	
8	1	地学	4	1	語句	知識	1	1	2	4	サ	1	89.0	太陽の表面にある、黒いしみのようなもので、周りよりも温度が低い部分の名称を記述	
9	1	地学	4	2	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	2	39.0	地球の直径と投影板上のの長さをもとに、Lの実際の長さが直径の何倍かを計算し選択	計算
10	2	化学	1	1	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	2	47.0	金属板がつかずなつて黒い物質が付着したことについて説明した文の2つの空欄にあてはまる語句をそれぞれ選択	完全解答・実験の結果
11	2	化学	1	2	語句	知識・情報	2	2	2	6	標	1	24.0	亜鉛板を硫酸銅水溶液に入れて金属板がつかずなる変化を化学反応式で記述	
12	2	化学	1	3	選択	知識・情報	2	3	1	6	標	2	77.0	実験1の結果から、最もイオンになりやすい金属と最もイオンになりくい金属の組み合わせを選択	実験の考察・組み合わせ
13	2	化学	2	1	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	1	78.0	タニエル電池の実験でおこるエネルギーの変換について説明した文の2つの空欄にあてはまる語句をそれぞれ選択	実験の考察・完全解答
14	2	化学	2	2	選択	知識・情報	2	1	1	4	サ	1	80.0	実験のようにつくられた電池の名称を選択	
15	2	化学	2	3	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	2	55.0	電子アルコールの接続後に容器中に増加していくイオンを選択	根本原理理解
16	2	化学	2	4	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	1	51.0	亜鉛板に接続した導線を通る電流の向きを選択	実験の考察
17	3	生物	1	1	説明・小	知識・情報	1	2	3	6	標	1	72.0	裸子植物と比べてときに被子植物のみに見られる特徴を説明	語句指定記述
18	3	生物	1	2	選択	知識・情報	1	2	1	4	サ	1	83.0	ジョウロウホトキスがもつ特徴として最も適当なものを選択	
19	3	生物	1	3	選択	知識・情報	1	2	1	4	サ	1	59.0	栄養生殖について説明した文中の3つの空欄にあてはまる語句の組み合わせを選択	組み合わせ
20	3	生物	1	4	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	2	54.0	ムジナモに関する会話文の2つの空欄にあてはまる内容をそれぞれ選択	完全解答・根本原理理解
21	3	生物	2	1	選択	知識・情報	1	2	1	4	サ	1	66.0	植物プランクトン、動物プランクトン、小型の魚類の数量関係を選択	根本原理理解
22	3	生物	2	2	選択	知識・情報	1	3	1	5	標	1	46.0	有明海でカイアシ類の数が急激に減少したとき原因として考えられる現象を2つ選択	2つ選択
23	3	生物	2	3	語句	知識	1	1	2	4	サ	1	91.0	もともと生息していなかった地域に、人間の活動によって持ちこまれて定着した生物の名称を記述	
24	3	生物	2	4	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	2	37.0	呼吸による炭素の流れを表しているものをすべて選択	完全解答・根本原理理解
25	4	地学	1	1	語句	知識	1	1	2	4	サ	1	59.0	気団の説明の空欄にあてはまることばを記述	
26	4	地学	1	2	選択	知識・情報	1	2	1	4	サ	1	54.0	3つの気団の性質として適当なものをそれぞれ選択	完全解答
27	4	地学	1	3	選択	知識・情報	1	2	1	4	サ	1	52.0	梅雨前線が発生する原因の2つの気団を選択	組み合わせ
28	4	地学	2	1	作図	知識・情報	1	2	3	6	標	2	41.0	温帯低気圧にともなう2つの前線を作図	
29	4	地学	2	2	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	1	54.0	2つの前線のつち動きが速い方の前線とその名称の組み合わせを選択	組み合わせ・根本原理理解
30	4	地学	2	3	選択	知識・情報	1	2	1	4	サ	1	52.0	日本付近の温帯低気圧において、地上付近での風向きを選択	
31	4	地学	2	3	選択	知識・情報	1	2	1	4	サ	1	66.0	日本付近の温帯低気圧において、中心付近の上下方向の空気の流れを選択	
32	4	地学	3	1	語句	知識・情報	1	1	2	4	サ	1	63.0	台風の経路に関わる気団の名称を記述	
33	4	地学	3	2	語句	知識・情報	1	1	2	4	サ	1	76.0	台風の中心付近の激しい上昇気流によって発達する雲の名称を記述	
34	5	物理	1	1	作図	知識・情報	1	1	3	5	標	1	44.0	図1の回路図を作図	
35	5	物理	1	2	選択	知識・情報	2	2	1	5	標	2	13.0	スイッチを入れたときの3つの電流計が示す値の大小関係として最も適当なものを選択	根本原理理解
36	5	物理	1	3	選択	知識・情報	2	3	1	6	標	1	16.0	3つの図の豆電球の明るさについて述べた文の2つの空欄にあてはまる語句の組み合わせを選択	根本原理理解・組み合わせ
37	5	物理	2	1	計算記述	知識・情報	1	2	3	6	標	1	71.0	実験で用いた電熱線の抵抗の大きさを計算	
38	5	物理	2	2	作図	知識・情報	1	2	3	6	標	2	74.0	電流を流した時間と電流を流しはじめてからの水の上昇温度の関係をグラフに作図	実験の結果
39	5	物理	2	3	計算記述	知識・情報	1	2	3	6	標	1	42.0	電流を流した5分間で電熱線から発生した熱量を計算	実験の結果
40	5	物理	2	3	計算記述	知識・情報	2	2	3	7	標	1	25.0	水の上昇温度が32℃のとき、電流を流した5分間で水が得た熱量を計算	実験の結果
41	5	物理	2	4	選択	知識・情報	2	3	1	6	標	1	33.0	銅製のコップを使用した場合の上昇温度がどうなるか選択	実験の考察

## 資料の見方・各項目の解説

この資料の特徴は、入試問題の全設問を、タイプ別に分類し、さらに難易度を数値化し、「サービス問題」「標準問題」「難問」の3ランクに分類していることです。右のページの表を見れば、この教科の問題が、どのような内容、レベルで作られているかがわかります。また、かんたんな学習アドバイスも書かれています。この下には、資料の作られ方と見方をまとめました。ぜひ活用してください。

### ■連番

設問の「通し番号」で、原則として点がつけられる単位を「1設問」として数えます。

### ■大設問

いわゆる「大問」・漢数字だったりローマ数字だったりしますが、この資料では原則、算用数字で表示。

### ■分野1

社会の分野のおおまかな分類（地理・歴史・公民）。主に大設問単位で設定された分け方。

### ■小設問

「連番」に対応する番号です。

### ■分野2

分野1よりも具体的な分類・設問そのものの形式・内容を表示。

### ■形式

- 名称左の数値1～4は、下の表の「表現力」の難易度です。
- 1 選択** いわゆる選択問題。語順整理など選択が特に多いものは、選択であっても語句（語句記述）にする場合も。
  - 2 語句** 語句単位で記述する設問。
  - 2 計算** 一般的な計算問題（数学）。
  - 3 計算記述** 計算過程も含めた一定以上の記述（数学・理科）。
  - 3 作図** 図やグラフを作成する問題。
  - 3 説明・小** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの。
  - 3 論述・小** 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの。
  - 4 説明・大** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。
  - 4 論述・大** 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの。
  - 4 証明** 証明の全過程（ほぼ全て）を記述するもの・穴埋めは2または3（数学）。

### ■種別

問題を「どのような頭脳の働きを求めるか」によって種類分けしています。

**知識** 語句などの知識があればストレートに解答できる設問です。

**情報** 与えられた資料などの情報から判断し回答すれば良い問題です。一般常識以上の知識が不要なタイプです。

**知識・情報** 知識を活用しつつ、情報処理や判断を行うタイプです。教科横断的な問題になる場合もあります。

問題を読む

考える

書く

**読解力**  
設問を読み内容や指示を理解する

**思考力**  
指示に従い作業や判断を行う

**表現力**  
指示に従い正確な解答を書く

問題難易度の判定方法です。問題を上の図のように、3ブロックに分けます。「読解：情報を入力」「思考：内容を考え判断」「表現：正しい解答を書く」です。読むべき内容は難しいが、選択式でしかも、解答がすぐ区別できるようになっていけば、主に「読解力」における難問です。反対に、わかりやすく書かれていても、意見と具体例をそろえて長い文章で表現しなければならないとなると、「表現力」の難問です。このような性格を数値化しています。

そして、設問の「難易度」は、読解力・思考力・表現力の3つの数値を合計して判定します。この計算をかんたんに表したのが、下の「判定の公式」です。

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解力	思考力	表現力	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	2	歴史	1	近現代	説明・小	知識・情報	2	3	3	8	難	3	18.8	19世紀後半に綿糸の生産が拡大し輸出量が増えた理由を説明	資料読取り+知識+説明
2	2	歴史	2	近現代	選択	知識	1	2	1	4	サ	2	80.3	高度成長経済期のころのようすがについて正しい文を選択	
3	3	公民	1	地方の政治と自治	選択	知識	1	2	1	4	サ	2	72.5	公共料金などが国や地方公共団体の認可が必要である理由を選択	
4	3	公民	3	現代社会と私たちの生活	説明・小	情報	3	2	3	8	難	3	34.4	バス路線存続の理由を公正の観点から説明	資料読取り+説明
5	3	公民	4(1)	地方の政治と自治	説明・小	情報	2	2	3	7	標	3	44.3	グラフからバス利用者が増やすべきだと判断した理由を説明	資料読取り+説明
6	3	公民	4(2)	地方の政治と自治	説明・小	情報	2	2	3	7	標	2	50.0	アンケート結果から市民がバスを利用しない理由を説明	資料読取り+説明

### ■読解力レベル

問題に書かれた内容の難しさの表示です。内容が難しいほど数値が大きくなります。

- 1 常識レベル** 中学生なら知っているべき
- 2 入試標準レベル** 多くは過去に何度か経験がある
- 3 入試難問レベル** 標準レベルの受験生がこずける
- 4 超高校入試レベル** 特別な問題でない限り見えない
- 5 特別レベル** ほとんどの中学生にとって意味不明

### ■思考力のレベル

読みとった情報について考え、判断する難易度です。設問と解答がそのまま対応する（単純な語句など）一問一答型は1、計算して解答を探したりする場合は2……のように「手順」の長さをだまかに数値化したものです。大きいほど手順が多く、ミスする可能性が高まります。

- 1 一問一答** 「単純な語句」的な設問
- 2 シンプル** たとえば式にしてみると時代を特定（1）十年表から判断（1）=2
- 3 手間がかかる** たとえば式にしてみると時代を特定（1）十年表から判断（1）+原因を推理して説明（1）=3
- 4 複雑** 3に対し「まぎらわしい」「作業が複雑」などの要素や手順が加わったもの
- 5 特別** さらに何段階もの手間をかけさせる設問
- 6 例外** 大人でもミスするポイントが何箇所もある複雑ぼう大な難物

### ■表現力のレベル

解答形式による手間の度合いを表します。「形式」項目をそのまま数値化しました。

- 1 選択** いわゆる選択問題・語順整理のような選択肢がたいへん多くなるものは除外する場合も
- 2 語句** 語句単位で記述する設問
- 2 計算** 一般的な計算問題（数学）
- 3 計算記述** 計算過程も含めた一定以上の記述（数学・理科）
- 3 作図** 図やグラフを作成する問題。
- 3 説明・小** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「小」は、解答の分量が小さいもの、構成力が不要でないもの
- 3 論述・小** 意見を述べるもの。「小」は、解答の分量が小さいもの、「構成力」が必要でないもの
- 4 説明・大** 与えられた素材や情報をもとに説明する問題。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
- 4 論述・大** 意見を述べるもの。「大」は分量が多いまたは、段落レベルの構成力が必要になるもの
- 4 証明** 証明の全過程（ほぼ全て）を記述するもの・穴埋めは2または3（数学）

## サービス問題

難易度 3～4 正答率の目安 70%～  
誰でも解けるように用意されたものです。ここでミスをしたら致命的です。どうあっても確実にゲットしたい問題です。

ミスは許されたい！

## 標準問題

難易度 5～7 正答率の目安 40%～70%  
入試の中心的な問題群です。これを確実にとれたかどうか難問より重要で、合否にもっとも大きく影響します。

ほとんどの受験生の勝負ポイント！

## 難問

難易度 8～10 正答率の目安 40%  
多くの受験生が解けません。難問高校以外ではあまり影響はありません（もちろん、難問はここが勝負）。

時にはパスする勇気も！

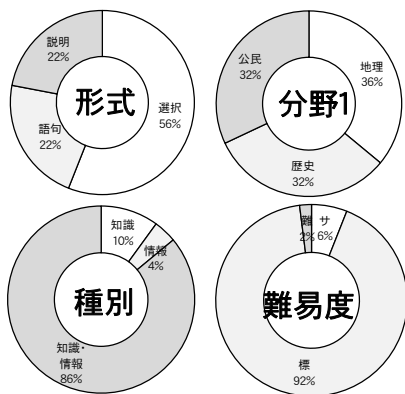
■難易度 11 以上は「超難問」です

## 判定の公式

$$\text{読解力レベル} + \text{思考力レベル} + \text{表現力レベル} = \text{難易度} \rightarrow \text{判定}$$

総評と特徴のまとめ

- ほぼすべての問題で資料・データ読取
  - 一問一答型の問題はごくわずか
  - 資料・データ読取対策が必要
- 説明問題は空欄の内容を補充する形式が中心
  - 文がつながるように書く表現力も必要
- 地理:資料・データ読取が中心
  - グラフや分布図などの特徴をつかむ
- 歴史:時代を横断するテーマ史は少ない
  - 時代ごとの特徴をおさえる
- 公民:原理原則の理解が必要
  - 語句だけでなく、用語の内容までをしっかりとおぼえる



傾向と対策

佐賀県 2024年度 一般 社会

選択問題が半分以上を占める。ただし、選択問題とはいっても例年、資料の読み取りがあるため注意が必要だ。資料・データをもとに解く問題では、必要な情報に印をつけるなど目立たせる工夫をして、何度も読むことをさけたい。また語句記述では、いレベルを基本的な語句が中心。今年の問題では「大戦景気」を答えさせる問題はやや難しかったが、他は定期テストレベルでも問われる内容が中心。「書いて覚える」という日頃の訓練がそのまま入試対策につながる。説明記述問題では、定期テストでみられるパターン型記述が中心。したがって説明問題で点を取るには、「習った語句や用語が説明で使えるレベルを目標にする必要がある。対策として、実際に過去問以外にも他県の入試問題を使って解くとよい。その際に「何を・どのように」答えるのかを必ず読み取ること、実際に書いたら解答と照らしあわせて内容の過不足の有無を確認することが有効だ。社会の苦手な人は、入試では特定の単元に絞って出題されていないため、どの単元にどのような語句があるのか整理する必要がある。例えば、白地図(地理)、年表(歴史)、図表(公民)を使って必要な語句を都度書き込んで覚える方法も有効だ。問題演習を通じて覚えるべきことをその都度書き込んでいけば、視覚的にも関連づけて整理することができるので、ぜひ実践してほしい。

全設問の分析と難易度一覧

連番	大設問	分野1	小設問	分野2	形式	種別	読解	思考	表現	難易度	判定	配点	正答率	内容	備考
1	1	地理	1	(1) 世界の諸地域	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	2	69.0	資料から、中国のa地点の雨温図と、Cの地域の土地利用の組合せを選択	資料・データ読取
2	1	地理	1	世界の諸地域	選択	知識・情報	3	2	1	6	標準	1	74.0	レポートと資料をもとに、都市人口率を示す中国の人口動態のグラフを選択	資料・データ読取+活用例
3	1	地理	1	世界の諸地域	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	1	70.0	レポートと資料をもとに、出生率を示す中国の人口動態のグラフを選択	資料・データ読取+活用例
4	1	地理	2	(1)X 世界の諸地域	選択	知識・情報	3	2	1	6	標準	1	75.0	東西ヨーロッパ間で人の移動、工場の移転に関する会話文中の空欄にあてはまる模式図の矢印を選択	資料・データ読取
5	1	地理	2	(1)Y 世界の諸地域	語句	知識・情報	2	1	2	5	標準	1	68.0	資料から、西ヨーロッパの国や企業にとっての経済的な効果・課題の表の空欄にあてはまる語句を解答(人件費)	資料・データ読取
6	1	地理	2	(2) 世界の諸地域	語句	知識・情報	3	2	2	8	標準	1	19.0	ヨーロッパの2つの地点の谷の写真をもとにしたレポートの空欄にあてはまる共通の語句を解答(水河)	資料・データ読取
7	1	地理	3	世界の諸地域	説明・小	知識・情報	2	3	7	標準	2	56.0	資料をもとに、近年のアラブ首長国連邦の政策の特徴を説明	資料・データ読取+活用例	
8	2	地理	1	(1) 日本の姿	選択	知識・情報	2	1	1	4	標準	1	91.0	略地図中のAで示した日本の北端の島名を選択	資料・データ読取
9	2	地理	1	(2) 世界から見た日本の姿(地形)	語句	知識・情報	2	1	2	5	標準	1	52.0	略地図をもとにした会話文中の空欄にあてはまる共通の語句を解答(フォッサマグナ)	資料・データ読取
10	2	地理	2	世界から見た日本の姿(人口)	選択	知識・情報	3	2	1	6	標準	1	46.0	多摩ニュータウンの人口推移のグラフと聴き取りのメモをもとに、資料の人口ピラミッドがいつのものであるかを選択	資料・データ読取+活用例+新傾向
11	2	地理	3	(1) 日本の諸地域	選択	知識・情報	2	3	1	6	標準	1	47.0	長野県に関する地域調査で、野辺山の雨温図と長野県を示すグラフの月別降水量を示したグラフの組合せを選択	資料・データ読取
12	2	地理	3	(2) 日本の諸地域	説明・小	知識・情報	2	2	3	7	標準	3	32.0	長野県の野辺山付近から出荷されるレタスの農業形態の特徴を、資料をもとに説明	資料・データ読取+パターン型記述
13	2	地理	3	(3) 日本の諸地域	語句	情報	2	3	2	7	標準	1	63.0	会話文中の空欄にあてはまる共通の語句を、資料をもとに解答(高速道路)	資料・データ読取
14	3	歴史	1	古代	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	1	47.0	資料の文字が使用されていた地域と、その文字の名称の組合せを選択	資料・データ読取
15	3	歴史	2	記録 古代	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	1	39.0	1世紀の日本が中国の皇帝に朝貢したことを記録した資料を選択	資料・データ読取
16	3	歴史	2	もの 古代	選択	知識・情報	2	1	1	4	標準	1	83.0	1世紀の日本が中国の皇帝に朝貢した記録に記載されたものを選択	資料・データ読取
17	3	歴史	3	古代	説明・小	知識・情報	2	2	3	7	標準	2	31.0	資料とカードをもとに、8世紀の日本の文化の特徴と名称を説明	資料・データ読取+パターン型記述
18	3	歴史	4	中世	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	1	44.0	北条泰時時代に出生した資料がいつのものかを年表中から選択	資料・データ読取
19	3	歴史	5	中世	選択	知識	2	2	1	5	標準	1	46.0	16世紀に、ヨーロッパ人がアジアを目指した背景について述べた2つの文の正誤の組合せを選択	資料・データ読取
20	4	歴史	1	近世	語句	知識	2	1	2	5	標準	1	57.0	ペリが日本に航した理由について述べた文の空欄にあてはまる語句を解答(清・中国)	資料・データ読取
21	4	歴史	2	近世	選択	知識・情報	2	3	1	6	標準	2	45.0	資料から、日米修好通商条約締結後の日本のようすについて述べた2つの文の正誤の組合せを選択	資料・データ読取
22	4	歴史	3	B 近現代	語句	知識・情報	2	2	2	6	標準	1	25.0	資料の風刺画が発表されたグラフ中の期間についてまとめたレポートの空欄にあてはまる語句を解答(大戦景気)	資料・データ読取
23	4	歴史	3	C 近現代	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	1	39.0	グラフ中の期間についてまとめたレポートの空欄にあてはまる語句を選択	資料・データ読取
24	4	歴史	4	近現代	語句	知識・情報	2	1	2	5	標準	1	48.0	資料をもとに、グラフ中の空欄にあてはまる語句を解答(関東大震災)	資料・データ読取
25	4	歴史	5	近現代	説明・小	知識・情報	2	2	3	7	標準	1	28.0	資料から、サンフランシスコ平和条約について述べた文の空欄にあてはまる内容を説明	資料・データ読取+パターン型記述
26	4	歴史	6	人物 近現代	選択	知識	2	2	1	5	標準	1	44.0	日本で最初にノーベル賞を受賞した人物を選択	資料・データ読取
27	4	歴史	6	時期 近現代	選択	知識	2	3	1	6	標準	1	20.0	日本で最初にノーベル賞を受賞した人物が受賞した時期におきたことを選択	資料・データ読取
28	5	公民	1	X 国際社会と私たち	語句	知識	2	1	2	5	標準	1	55.0	国際連合について述べた文の空欄にあてはまる語句を解答欄に合うように解答(世界の平和(や)安全)	資料・データ読取
29	5	公民	1	Y 国際社会と私たち	語句	知識・情報	2	3	2	7	標準	1	25.0	資料をもとに、国際連合について述べた文の空欄にあてはまる語句を解答(PKO・国連平和維持活動)	資料・データ読取
30	5	公民	2	現代社会と私たち	選択	情報	2	1	1	4	標準	1	89.0	学校で模擬選挙が行われた結果に関するまとめの2つの空欄にあてはまる記号の組合せを選択	資料・データ読取
31	5	公民	3	国の政治のしくみ	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	2	66.0	裁判員制度について、図で示した「公判」「評議」「判決」の3つの内容の正しい組合せを選択	資料・データ読取
32	5	公民	4	国の政治のしくみ	語句	知識・情報	2	1	2	5	標準	1	67.0	資料から、日本の商品生産における公平さを実現するために国策に求められていることについて述べた文の空欄にあてはまる語句を解答(立法)	資料・データ読取
33	5	公民	5	現代社会と私たち	説明・小	知識・情報	1	1	3	5	標準	2	82.0	資料をもとに、ある街の標識がさまざまな言語で書かれている理由を「共生」を用いて説明	資料・データ読取+パターン型記述
34	6	公民	1	生産と労働	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	1	47.0	3つの事例のうち、労働基準法に違反しているものを選択	資料・データ読取
35	6	公民	2	a 国際社会と私たち	選択	知識・情報	2	2	1	5	標準	1	73.0	SDGsの目標の1つである「貧困をなくそう」について述べた文の空欄にあてはまる語句を選択	資料・データ読取
36	6	公民	2	b 国際社会と私たち	語句	知識・情報	2	1	2	5	標準	1	49.0	SDGsの目標の1つである「貧困をなくそう」について述べた文の空欄にあてはまる語句を解答(フェアトレード)	資料・データ読取
37	6	公民	3	国民生活と福祉	選択	知識・情報	2	2	1	6	標準	1	59.0	「小さな政府」から「大きな政府」への役割の変化に沿った政策を選択	資料・データ読取
38	6	公民	4	地方の政治と自治	選択	知識・情報	2	3	1	5	標準	1	49.0	地方交付税交付金が表1のどの領域に含まれるかを選択	資料・データ読取
39	6	公民	5	価格の動きと金融	選択	知識・情報	2	3	1	6	標準	2	59.0	表をもとに、日本とアメリカの為替レートの変動が与える影響について述べたものを選択	資料・データ読取+活用例
40	6	公民	6	くらしと経済	説明・小	知識	2	2	3	7	標準	1	77.0	会話文中の空欄にあてはまるよう、循環型社会の実現に向けたベトナムの再商品化以外の具体例で説明	